

## 平成 30 年度 第5回 政策決定会議 会議録①

- 
- ◆開催日時:平成 30 年 10 月 16 日(火) 16:00～16:09
  - ◆開催場所:市長公室
  - ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
- 

### ◆審議事項

- ・岸和田市民体育館条例の改正について……………スポーツ振興課⇒承認
- 

### ◆審議概要

#### 『岸和田市民体育館条例の改正について』

〈説 明 者〉濱上生涯学習部長、津田スポーツ振興課長、有留担当長、田淵担当員  
花田公共施設マネジメント課長、上田担当長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案のとおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

#### 【政策調整会議における議論内容】

- ① 社会体育施設の今後の在り方を検討し、2019 年度中に実施方針を決定する。併せて、2020 年度から個別施設計画に反映することを確認。
- ② 春木体育館は廃止する。将来計画として、総合体育館を補完する市民体育館の機能を、中央体育館と他の社会体育施設との集約化も含め検討していることを確認。

◎説明後、質疑応答

〈市 長〉廃止の理由は理解できるので、早急に廃止に向けて取り組んでいただきたい。ただし、関係団体、利用者にとっては突然のことでご不便をおかけすることになり、利用者のクラブ活動にも影響が出ることになるので説明をしっかりとっていただきたい。また、ご意見があればしっかりと伺っていただきたい。

〈土佐副市長〉利用していた各種団体がいると思うが、できる限りのご案内をきめ細かくしていただきたい。

〈市 長〉小学校の体育館を代替利用できるよう提案できるのか。

〈スポーツ振興課長〉夜間は一般開放しており、春木小学校で言えば、現在週3日は空いている。しかし、日中は学校の授業等があるので、開放はしていない。そのため、どちらかと言えば、体育館を日中に利用している高齢者の方の利用をどこかで担保できればと考えている。

〈土佐副市長〉同じ時間帯で利用できるかなどといった調整を各種団体としないといけないと思うが、よろしく願いたい。

〈教 育 長〉春木体育館は廃止になるが、スポーツ振興の考え方は市として変わることなく、継続していただきたい。

〈土佐副市長〉社会体育施設の今後の在り方については、前向きに検討をしていきたい。

〈土佐副市長〉本案件について、原案のとおり承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

平成 30 年9月 26 日

## 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

### 記

付議事項名	岸和田市民体育館条例の改正について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	台風 21 号の被害により損壊した春木体育館を廃止し、それに伴い岸和田市民体育館条例を改正することについて付議するものです。
説明者	スポーツ振興課長 津田 スポーツ振興課管理担当長 有留 スポーツ振興課担当員 田淵
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成30年度 第5回会議
付議事項	岸和田市民体育館条例の改正について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	台風21号により著しく損壊した春木体育館を廃止し、岸和田市民体育館条例を改正する。

★総合計画上の位置付け

202030201	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)事務を効果的・効率的に行うための体制が整っている
	目指す成果	②資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている
	行政の役割	ア 市の財産を適正に管理する

★現状と課題

<p>台風21号にて春木体育館が利用不可能な状態となったため、原状回復工事について検討した結果、別紙資料の2の理由により、当体育館を廃止する。ただし、当施設の利用者を補完できる施設がないのが課題である。</p>
---

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
春木体育館の廃止に伴う工事			21,400					
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源			21,400				
	その他							
事業費			計	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			21,400	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
① 春木体育館管理経費の削減	千円				10,376	10,376	10,376	10,376	10,376
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。